

HAMAYOU

芦屋町ボランティア活動センター通信 147号

発行日 2024年3月1日

発行者
芦屋町ボランティア
活動センター「リード」
発行所
遠賀郡芦屋町中ノ浜11-6
町民会館2階
TEL 093-221-1011

災害ボランティア活動を考える

新年早々心を痛める出来事が起きました。能登半島地震では、想像をはるかにこえる甚大な災害となっています。今号では「災害ボランティア活動」について考えていきます。

災害ボランティアといえば、がれきの撤去など力仕事を中心かと思われがちですが、力に自信がなくても行える活動もあります。例えば、写真洗浄、炊き出し、被災者の声に耳を傾ける傾聴活動、避難所の運営補助、子どもと遊ぶなどがあります。また、現地に行かなくても行えるボランティアもあります。それは、支援を送ることです。支援には、支援金（災害支援をしている団体に届く寄付）、義援金（被災された人に届く寄付）、支援物資があります。支援物資を送るときには、被災地の状況やニーズに合わせた物資が必要な量だけ送ることが重要です。

活動に参加するときの心構え

- ① 自己完結—装備や宿、食料などは自分で準備しましょう。
- ② 自己責任—けがや病気、事故のリスクが常にあるため、必ず保険に入り、健康管理を心がけましょう。
- ③ 多様性の尊重—被災者のおかれている状況は一人一人異なり、それぞれに寄り添う姿勢を持ちましょう。
- ④ 被災地・被災者への配慮—被災者には、家族や自宅など失ったものがたくさんあります。また、避難所という慣れない環境でさまざまな問題に直面し、不安を抱えています。心情を想像し、言動に配慮しましょう。



災害時にカギとなる心理作用

正常性バイアスを学ぶ

自然災害や事故などの危険な状況であっても、「まだ大丈夫」、「これくらいなら大丈夫」などと思いつつ、「正正常性バイアス」と呼びます。

正常性バイアスは心の安定を保つためのメカニズムですが、災害時にはマイナスに働くことがあります。例えば、危険が迫っていても、大丈夫だと思い、逃げ遅れてしまうという状態です。このような本来備わっている心理作用を学ぶことは、災害時に正しい判断を行うためには必要なことです。

災害ボランティア活動について、今後、学びの機会を作って行きたいと思えます。



ボランティア活動団体のご紹介

今回ご紹介するのは、絵本の読み聞かせや手遊び、折り紙などの活動を行っている団体です。

◆にじの会

絵本の楽しさや、触れ合うことの嬉しさを共感したくて、小学生までを対象に読み聞かせをする「おはなしかい」を行っています。「おはなしかい」は、図書館で毎月第2・4日曜日に行っています。子どもたちは、読み聞かせが始まるとすぐに話に引き込まれ、目を輝かせて聞き入ります。歌に合わせた手遊びや折り紙なども一緒に楽しんで、たくさん笑顔を見せてくれます。「にじの会」は現在3人で活動中です。活動にご興味ある人はいつでも見学にお越しください。



こんなボランティア活動も！ 楽しい映画ボランティア



皆さんも一度は「エキストラ」と言う言葉を聞いたことがあると思います。例えば、通行人やレストランのお客さんなど、背景で作品のリアリティと雰囲気を作り出している人々です。

ここでは、実際にエキストラとして私服の警備役をした体験を紹介しましょう。

映画がどのように作られるかは、何となく理解はしていましたが、その撮影は、監督や俳優以外にも、驚く程の量の機材と多くのスタッフの連携で制作されていることを目の当たりにしました。

撮影はカットの連続で長時間に及び、俳優は長いセリフを一度も間違ふことなく、何度も演じていて、その精神力にはびっくりしました。

また、撮影の待ち時間に周りにいる初対面の人たちと積極的に交流を行い、新たな出会いと繋がりを得ることができました。

この時の活動は10時間もずっと立ったままで疲れましたが、テレビで見ていた人気女優のすぐ横で活動する機会もあり、また、作品づくりへの貢献もでき、多くの感動を得ることができました。

エキストラはパソコンや携帯から手軽に応募できます。赤ちゃんからお年寄り、親子やペット連れなど多種多様な役があるため、都合のつくタイミングで、好きな役を選んで応募できます。興味のある人は経験者の橋田までご相談ください。



各種団体活動（見学できます。詳細はお問い合わせください）

■デジタル写真

- ・ADPC(火 13:00)
- ・AADP(土 13:00)

■福祉支援

- ・芦屋町手話の会(水 19:00)
- ・ハーティネットあいあい
(視覚障がい者支援) (木 13:00)

■英会話

- ・AEGC(木 10:00)

■手作り教室

- ・すみれ会、さくら会〈洋裁〉
(水 10:00・13:00)
- ・でんでんむし〈布絵本〉
(木 10:00)

☆編集後記☆

あの日都内の高層ビルで講演中、突然経験したことのない激しい揺れに遭遇。震度5強、東日本大震災である。安否確認をしようにも携帯は使えず。その後帰宅難民となった。災害・事故・事件にまさかはある。遭遇時の心構えや備えの重要性を痛感した出来事であった。(橋)